

報道関係者各位

ブルーイノベーション株式会社
セーフィー株式会社

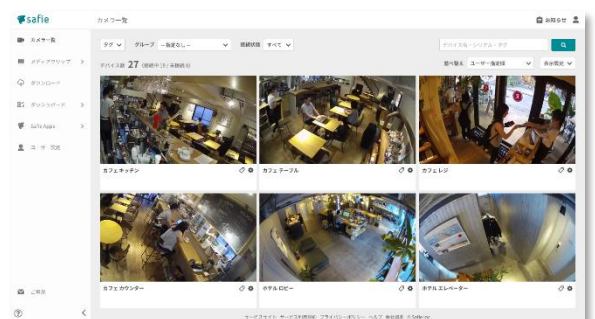
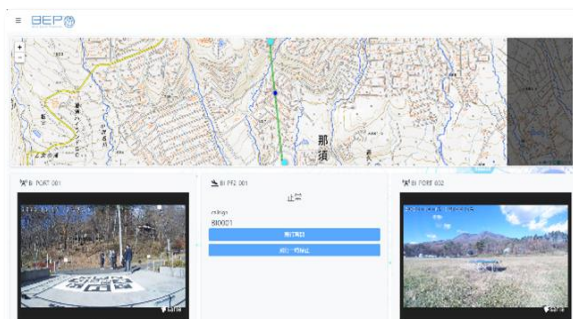
ブルーイノベーションとセーフィー、 「リアルタイム映像伝送・統合管理ソリューション」の提供に向け業務提携 Japan Drone2022でデモンストレーションを実施

両社のプラットフォーム連携により、ドローンやロボット、ウェアラブルカメラなどの映像データをクラウド上で一元管理・連携。映像利活用による現場DXを推進

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長CEO:熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)と、クラウド録画サービスシェアNo.1^{*1}のセーフィー株式会社(東京都品川区:代表取締役社長CEO 佐渡島 隆平、以下 セーフィー)は、複数のドローンやロボット、各種デバイスを遠隔・目視外で自動制御・連携させることができるデバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform[®](以下「BEP」)」^{*2}と、クラウド録画サービス「Safie(セーフィー)」^{*3}を連携させた「リアルタイム映像伝送・統合管理ソリューション」の提供に向け、業務提携しました。

 Blue innovation

×

 safie

ロボット・ドローンの運行や位置情報、取得映像を一元管理するブルーイノベーションのBEP管理画面(左)と映像データをリアルタイム伝送・管理するSafieの管理画面(右)

本提携により、ドローンやロボットなどに搭載した「動くカメラ」と作業員に装着した「ウェアラブルカメラ」、特定箇所に据えた「定点カメラ」など、複数のデバイスで撮影した多様な映像データをクラウド上でリアルタイムに一元管理・連携させることが可能となります。これにより、公共機関やインフラ業界、物流、災害対応など様々なシーンで映像を活用した業務の遠隔化や自動化が期待できます。

なお、6月21日(火)～23日(木)に、幕張メッセで開催される「Japan Drone2022」のブルーイノベーションブース(ブースNo.AG-11 <https://www.blue-i.co.jp/japan-drone/>)において、両社のプラットフォームを連携させたリアルタイム映像伝送・統合管理ソリューションのデモンストレーションを行うとともに、実証運用の受付を開始する予定です。

■本取り組みの背景

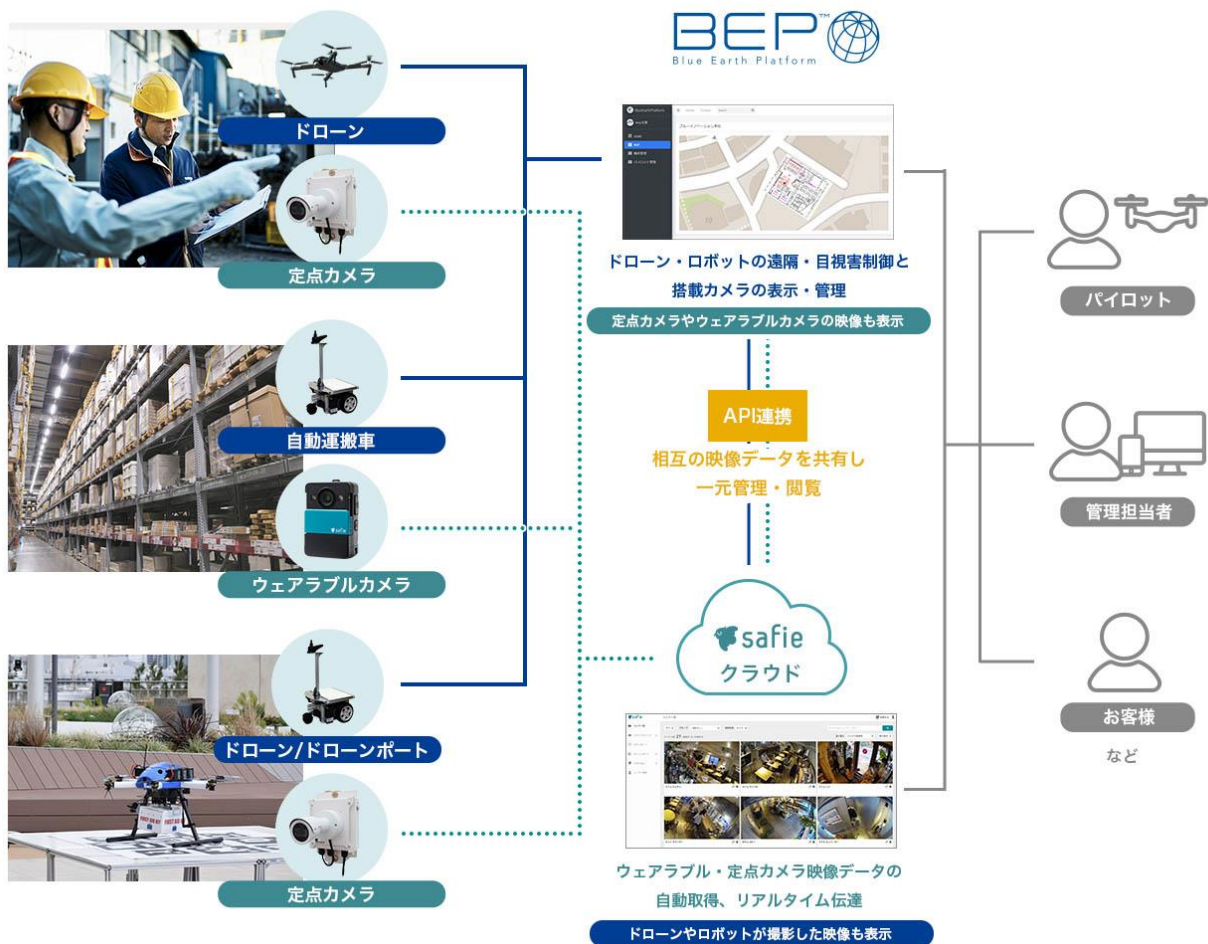
現在、公共機関やインフラ点検、物流・流通、警備・保安などの産業分野で人材不足が進んでおり、現場業務での安全性の確保に加え、業務効率の改善などを目的に、データ利活用によってそれらを解決することが目指されています。中でも、人の目を代替する映像データで現場を見える化することで保管される用途は多く、ウェアラブルカメラや定点カメラ、さらにドローンやロボットなどを活用した映像の利活用が望まれています。

一方、各デバイスによって撮影できる場所や対象が限られる上、それぞれが撮影した映像データは別々に保存・管理されているため、映像の内容確認や撮影場所の特定、相互のデータ連携などの業務が煩雑になり、結果として映像利活用による業務の省力化や自動化が進んでいないという課題があります。

■本取り組み内容

これに対し、両社のプラットフォームであるBEPとSafieを連携させ、BEPで制御されているドローンやロボットが取得した映像データと、セーフィーのウェアラブルカメラや定点カメラが取得したデータを一元化することで、以下が可能となります。

- ・ドローンやロボットに搭載のカメラ、ウェアラブルカメラ、定点カメラといった各カメラが取得する映像の統合、連携による「業務一元化」
- ・ドローンやロボットの稼働状態および周辺的安全確認における「業務省力化、自動化」
- ・ドローンやロボットでは入れない場所(狭小空間や密閉空間など)での、ウェアラブルカメラや定点カメラの映像データ取得による「業務対象範囲の拡大」
- ・撮影対象や業務にあわせた撮影デバイス選択による「業務最適化」



両社のプラットフォーム連携イメージ

■今後の展開

今後両社は、多彩なデバイスによる映像取得からリアルタイムなクラウド伝送、映像データの一元管理と連携までトータルサポートする「リアルタイム映像伝送・統合管理ソリューション」の共同開発と実証運用を進め、映像を核とした業務の省力化・自動化、ひいては現場DXの推進ならびに社会課題の解決に貢献していきます。

ブルーイノベーション株式会社 熊田 貴之 代表取締役社長CEO コメント

地球温暖化に伴う災害や感染症の増加、高度成長期以降に整備されたインフラ施設の老朽化に伴う維持管理の負担増、少子高齢化に伴う労働人口減少などの課題解決の手段として、ドローンやロボットによる業務の省力化・自動化、DX化が急激に進んでいます。そこでは広域・多岐に渡るデータ取得と管理が必要であり、その中でも死角のない、リアルタイム映像による「見える化」は重要です。今回のセーフイーとの取り組みを通し、業務改善・DX化推進に貢献できるものと確信しています。

セーフイー株式会社 佐渡島 隆平 代表取締役社長CEO コメント

今回、私たちの映像プラットフォームと、人とロボットを繋ぎ、社会課題を解決するブルーイノベーション提供のプラットフォームを連携することで、ドローンやロボットのような業務の省人化や無人化を支援するテクノロジーの映像データをクラウド化する一歩を踏み出すことができ、それらをより有効活用することが可能になります。今後、益々活用が進む先端技術の有効活用化を支援することで、公共機関やインフラ業界の現場におけるDXを推進していきたいと考えています。

■Japan Drone 2022開催概要

会期：2022年6月21日(火)～23日(木) 10:00～17:00

会場：幕張メッセ展示ホール

主催：一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA)

URL：<https://ssl.japan-drone.com>

■会社概要

ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)

1999年6月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォーム「Blue Earth Platform[®](BEP)」を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。

<http://www.blue-i.co.jp/>

- ・点検ソリューション(プラント・工場・公共インフラなどのスマート点検、3Dモデル化など)
- ・物流ソリューション(倉庫内在庫管理、物流など)
- ・オフィスソリューション(警備・防犯、監視、清掃など)
- ・教育ソリューション(社内人材育成、子ども向けプログラミング教育など)

セーフィー株式会社(東京都品川区)

2014年10月設立。日本中、世界中のカメラの映像をクラウド化し、自分のため、社会のために誰もが活用できる映像プラットフォームを提供します。

・サービスサイトURL <https://safie.link/>

・コーポレートサイトURL <https://safie.co.jp/>

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 PRマーケティング部
TEL:03-6801-8781 E-mail:press@blue-i.co.jp

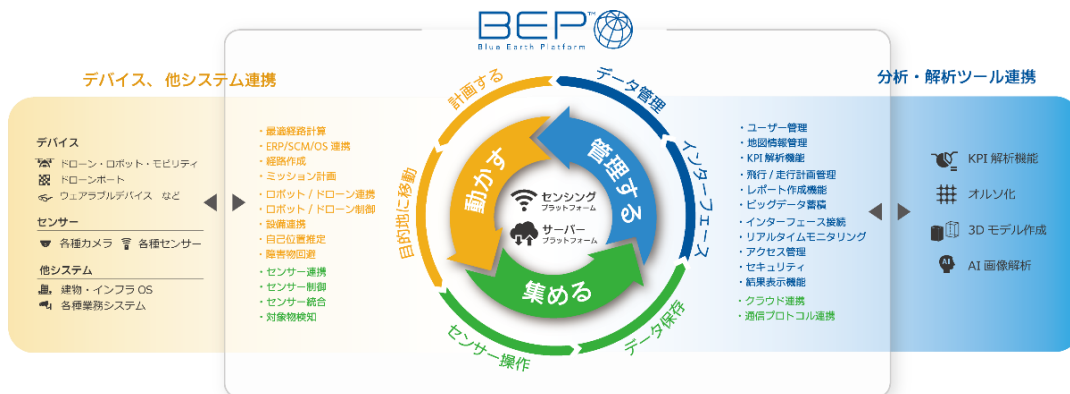
セーフィー株式会社 広報PR 担当 池上
TEL:070-1523-3240 E-mail:pr@safie.jp

【用語説明】

※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」より

※2) デバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform®(BEP)」とは

BEPは、複数の自律移動ロボットを協調・連携させて複雑な業務を達成させるためのソフトウェアプラットフォームです。「ロボットを動かす」「情報を集める」「情報を管理する」にフォーカスしており、利用者は自律移動ロボットのスペックや制御方法等を意識することなく、ネットワーク上で繋がった複数のドローンやロボットが、ひとつの命令で複数の業務を自動で遂行します。



※3) クラウド録画サービス「Safie(セーフィー)」とは

Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェアNo.1のサービスです。

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

我々は「映像データであらゆる産業の”現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売り、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。



セーフィーはデータガバナンスに関する取り組みを下記指針に遵守し啓発活動を行っています。

・データガバナンスに関する取り組み

<https://safie.co.jp/csr/advisoryboard/>

・データ憲章(2022年4月1日発行)

https://bucket.safie.link/pdf/csr/advisoryboard/safie_data_charter_JP.pdf

以上